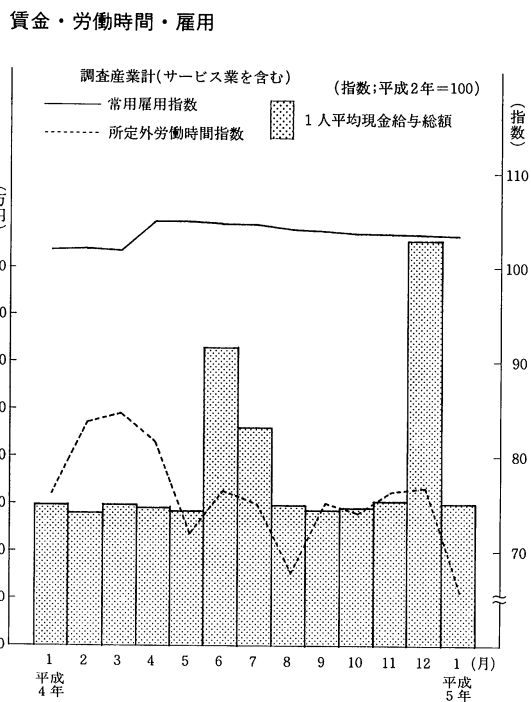
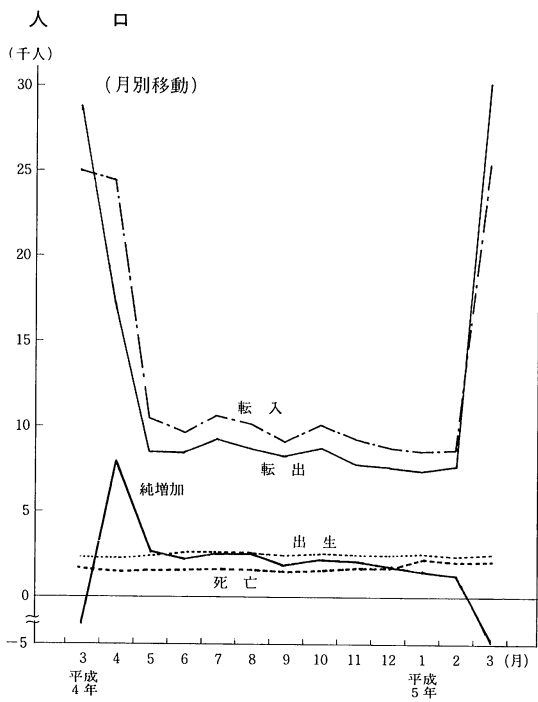
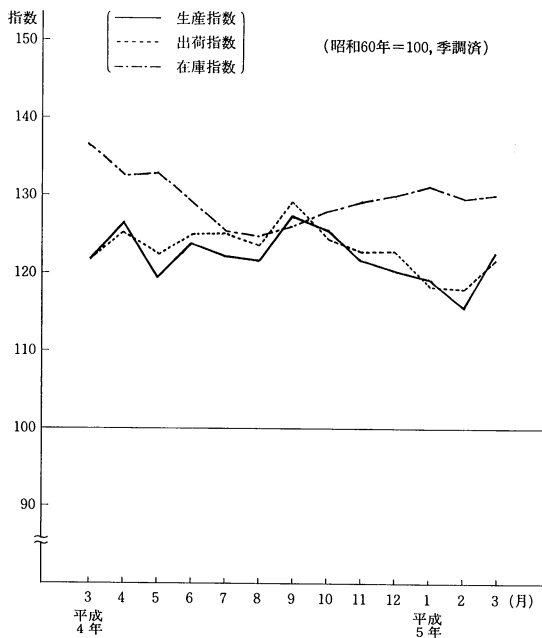


● 今月の主な動き

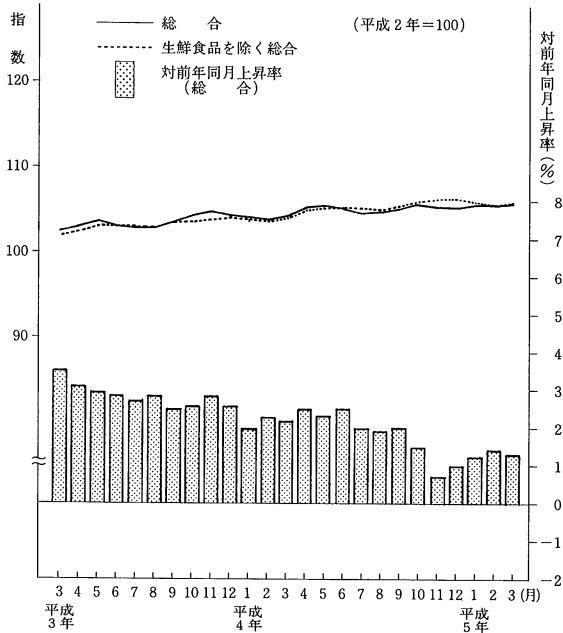
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人口(4月1日)

本県の人口は、3月中に4,802人減少し、4月1日現在で2,908,485人(男1,452,545人,女1,455,940人)となった。

内訳は、自然動態で447人(出生2,462人,死亡2,015人)増加し、社会動態で5,249人(転入25,434人,転出30,683人)減少した。前年同月と比べると23,383人(0.81%)の増

加である。

市町村別では、増加が3市30町村,減少が17市34町村,増減なしが1町2村である。

世帯数についても3月中に1,577世帯減少し880,103世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用(1月)

(注) 平成5年1月に毎月勤労統計調査の対象事業所の抽出替えが実施されたため、それに伴う指数補正(ギャップ修正)により公表済の指数が異なる場合があります。

1. 平均賃金の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で302,824円,対前年同月比0.8%増,このうち,きまって支給する給与は287,110円,対前年同月比4.0%増であった。また,このうち,所定内給与は261,716円,対前年同月比4.5%増であり,超過労働給与は25,394円,対前年同月比2.0%減であった。

なお,物価上昇分を差し引いた実質賃金は,対前年同月比0.5%減であった。

※ この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお,事業所規模5人以上の結果についての間合せにも応じます。

2. 労働時間

1月の総実労働時間は,調査産業計で146.3時間,対前年同月比0.9%減であった。このうち,所定内労働時間は133.5時間,対前年同月比0.5%増,所定外労働時間は,12.8時間,対前年同月比13.5%減であった。

3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると,対前年同月比1.3%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(3月分)

本県における平成5年3月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は,季節調整済指数で,生産が122.6,出荷が121.7,在庫が130.1で,前月比は,生産が6.1%の上昇,出荷が2.8%の上昇,在庫が0.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は,生産が△0.4%の低下,出荷が△1.6%の低下,在庫が△3.7%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では,食料品・たばこ工業,電気機械工業,精密機械工業等が上昇し,化学工業,鉱業,鉄鋼業等が低下した。出荷では,電気機械工業,鉱業,食

料品・たばこ工業等が上昇し,パルプ・紙・紙加工品工業,化学工業,鉄鋼業等が低下した。在庫では,繊維工業,食料品・たばこ工業,輸送機械工業等が上昇し,パルプ・紙・紙加工品工業,石油・石炭製品工業,鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では,資本財,非耐久消費財等が上昇し,鉱工業用生産財,その他用生産財が低下した。出荷では,資本財,その他用生産財等が上昇し,鉱工業用生産財,建設財が低下した。在庫では,非耐久消費財が上昇し,その他用生産財,鉱工業用生産財等が低下した。

■ 消費者物価指数(3月)

平成5年3月の茨城県消費者物価指数(県平均)は,総合で105.9(平成2年=100)となり,前月比0.3%の上昇,前年同月比1.3%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……衣料5.1%,魚介類1.4%,医薬品1.2%

今月の下がった主な項目……家庭用耐久財1.5%,油脂・調味料1.1%,シャツ・下着1.0%

生鮮食品を除く総合は106.2となり,前月比は0.4%の上昇,前年同月比は1.9%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	105.9	0.3	1.3	保健医療	102.4	0.5	2.9
食 料	106.1	0.1	△0.8	交通通信	100.6	0.1	0.3
住 居	111.3	0.1	4.7	教 育	106.1	0.0	3.4
光熱・水道	103.2	0.1	0.9	教養娯楽	108.7	0.1	2.1
家具・家事用品	101.3	△0.3	0.3	諸 雑 費	104.7	0.1	1.7
被服及び履物	105.9	2.0	1.8	生鮮食品を除く総合	106.2	0.4	1.9